

国民の利益に背く対米誓約は許されない

日米首脳会談で志位委員長が談話

日本共産党の志位和夫委員長が発表した、日米首脳会談についての談話は次の通りです。

一、安倍首相とオバマ大統領は、23日（日本時間）、ワシントンで日米首脳会談をおこなった。

安倍首相は、日本の経済主権を投げ捨て、食と農をはじめ日本の産業と国民生活のあらゆる分野に深刻な打撃となるTPP（環太平洋連携協定）交渉参加に大きく踏み出す意向を示した。TPP参加は、国論を二分している大問題であるにもかかわらず、国会をはじめ国内での国民的議論の場で態度を明らかにすることなく、日米首脳会談という場で交渉参加に踏み出したことは許しがたい。

さらに、日米首脳会談は、「日米同盟の強化」を強調し、沖縄の新基地建設、軍事力強化、集団的自衛権行使に向けた憲法解釈の変更の推進、原発の再稼働と推進を約束するなど、日本国民の民意に背く異常な対米追従ぶりを際立たせるものとなった。一、TPPについて、安倍首相は「聖域なき関税撤廃が前提でないことが明確になった」としている。

しかし、発表されたTPPに関する「日米の共同声明」では、「全ての物品が交渉の対象とされる」とし、すでにTPP交渉参加国で合意されている「TPPの輪郭（アウトライン）」において

て示された包括的で高い水準の協定を達成していくことになることを確認する」としている。この「アウトライン」は、「関税並びに物品・サービスの貿易及び投資に対するその他の障壁を撤廃する」すなわち関税と非関税障壁の撤廃が原則であることを明記したものである。「アウトラインの達成を確認する」としながら、「聖域なき関税撤廃が前提でないことが明確になった」などというのは、国民を欺くものにほかならない。

「日米の共同声明」では、「一方的に全ての関税を撤廃することをあらかじめ約束することを求められるものではない」と書かれている。しかし、これは、交渉の場で例外を主張することは「認める」という程度のもにすぎず、交渉の結果がどうなるかについて、何らの保証をあたえるものではない。

こんなごまかしで、国民への公約を投げ捨て、農業や医療、食の安全をはじめ広範な分野で地域経済と国民生活に深刻な打撃となるTPPを推進することは絶対に許されるものではない。

一、両首脳は、日米合意に基づいて名護市辺野古への普天間基地「移設」を早期に進めることで合意した。沖縄県下41市町村のすべての首長と議会の議長が署名した建白書、全会一致の沖縄県議会決議にみられるように、「辺野古移設」反対、普天間基地閉鎖・撤去は沖縄の総意であり、この総意を踏みにじって新基地を押しつけることは、断じて許されるものではない。

一、首脳会談は、「日米同盟はアジア太平洋地域の安全保障にとって中心的な礎」とうたい、安倍首相は軍事力強化への取り組み、集団的自衛権行使容認に向けた議論を進めていることを強調した。集団的自衛権行使は、日米が海外で共同した軍事活動をおこない、「肩を並べて武力行使する」ためのものにほかならない。日米軍事同盟のきわめて危険な侵略的変質をはかり、海外での武力行使を禁じた日本国憲法にまっとうから逆らうものである。

一、安倍首相は、オバマ大統領へ「2030年代に原発稼働ゼロを目指す民主党政権の方針をゼロベースで見直す」と約束した。民主党政権の「原発ゼロ」を批判して、閣議決定を阻んだアメリカに原発再稼働・推進の「確約」を与えるものである。「安全神話」をふりまいて深刻な福島原発事故を引き起こした自らの責任を顧みず、原発ゼロを求める多数の国民世論をなおりりにするものである。

一、このような数々の国民の利益に背く対米誓約をおこなったことにたいして

東日本地震・12号台風への
救援募金にご協力を
【郵便振替口座】
0017017198422
名義は、日本共産党中央委員会です。
送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、「地震救援募金」である事の明記を。
磯城郡日本共産党議員団

生活保護申請拒否は違反
三郷市に賠償命じる
全面的勝訴

生活保護を求めていた市民の申請を埼玉三郷市が拒否したことなどに対し、市に損害賠償を求めた「三郷生活保護裁判」でさいたま地裁（中西茂裁判長）は20日、原告勝訴の判決を出しました。

裁判は、三郷市在住の夫婦が2005年1月から数回にわたり生活保護（生保）申請をしたのに対し、同市が1年半にわたって拒否。06年6月に生保開始から2カ月後に市の指導で東京都内に転居させられ、生保を受けられないと誤信させられたことに対し、約1000万円の賠償を請求したものです。

2007年の提訴から5年が経過し、原告だった夫は白血病で亡くなり、妻と子どもが裁判を引き継いできました。

判決は世帯主が白血病に倒れ、一家が生活に困窮していたことなど、原告が生保を受ける必要があると認識できる状況にありながら、市が申請を拒否したことに対し、職務義務違反と認定。都内への転居を勧めた際に、転居先で生保の相談にいかないよう述べたことに対しても、少なくとも過失があるとして、原告の主張を認め、市に537万円の損害賠償の支払いを命じました。

地裁前で原告弁護士団が「勝訴」の幕を掲げると、駆け付けた支援者から歓声と拍手がわき起こりました。

原告弁護士団の中山福一団長は「原告の主張の9割が認められ、全面的勝訴だ」と述べました。

2013年2月21日（木）

2013, 2, 26 NO, 594
日本共産党
磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415
吉田容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446
森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661

生活保護申請拒否は違反
三郷市に賠償命じる
全面的勝訴

生活保護を求めていた市民の申請を埼玉三郷市が拒否したことなどに対し、市に損害賠償を求めた「三郷生活保護裁判」でさいたま地裁（中西茂裁判長）は20日、原告勝訴の判決を出しました。

裁判は、三郷市在住の夫婦が2005年1月から数回にわたり生活保護（生保）申請をしたのに対し、同市が1年半にわたって拒否。06年6月に生保開始から2カ月後に市の指導で東京都内に転居させられ、生保を受けられないと誤信させられたことに対し、約1000万円の賠償を請求したものです。

2007年の提訴から5年が経過し、原告だった夫は白血病で亡くなり、妻と子どもが裁判を引き継いできました。

判決は世帯主が白血病に倒れ、一家が生活に困窮していたことなど、原告が生保を受ける必要があると認識できる状況にありながら、市が申請を拒否したことに対し、職務義務違反と認定。都内への転居を勧めた際に、転居先で生保の相談にいかないよう述べたことに対しても、少なくとも過失があるとして、原告の主張を認め、市に537万円の損害賠償の支払いを命じました。

地裁前で原告弁護士団が「勝訴」の幕を掲げると、駆け付けた支援者から歓声と拍手がわき起こりました。

原告弁護士団の中山福一団長は「原告の主張の9割が認められ、全面的勝訴だ」と述べました。

2013年2月21日（木）

日本共産党発行
しんぶん 赤旗
日刊 3,400円
日曜版 800円

駅前広場公共トイレ

2010年に田原本駅前広場が完成し、たくさんの方が利用されています。町がおこなったアンケートでも、駅前に送迎にこられる方や駅を利用されている方からは、8割の方が便利になったと答えておられます。

ところが、最近、若い女性の方から「駅前広場にたむろしている集団が居ると通るのが怖い」という苦情が届きました。いろんな方に伺ってみて、「入口から洗面所が見えていて落ち着かない」「入口で生徒が、隠れて、たばこを吸っていて入れない。」その結果「駅中のトイレを使っている」など利用しにくい様子が

伝わってきました。大変残念なことです。

駅前広場建設に当たり、「交番を設置していただきたい」という要望は、私だけでなく他の議員からも、特別委員会や本会議の中でもでていました。それは、防犯対策として必要という認識が議会の中であったからです。

ところが、残念ながら、警察の都合で交番は設置されませんでした。できなればかりのトイレが使いにくいでは、もったいない話です。

構造上の欠陥があるのでは？今議会で質していきます

田原本議会議員

吉田容工



pixta.jp - 4952916

「森羅塾」

先日、明日香村の無農薬食品を食べさせてくれる「森羅塾」（明日香村雷）に行ってきました。

森羅塾の成り立ちは、村が古民家の一軒家を貸出したり、みかん畑の木のオーナーを募集したりして、明日香村が行っている村おこしの一つです。

「森羅塾」のシェフの話によるとは「80数年たつ農家を建設業者が買い取り、改築と内装を行い、夏は涼しく、冬は暖かいように断熱材を壁に使用し、主な柱だけを残している。現在は建築業者から独立し、宿泊ができるレストランにした。昔の台所が風呂場に変身牛舎がレストランになっ

ている」また、食材について「無農薬の食材を三重県や明日香村でとれるものを使っている。」

来てくれるお客さんは「夏は緑の稲穂、秋は黄色の稲穂、また、ホタルやカブトムシなども取れる」「東京、神奈川、大阪などの方が多く、女性だけのグループもある。」

と好評をいただいているということでした。明日香村のガイドブックによると飲食店は34数点もあり、古代米の赤米や酵素米で出来たご飯を「森羅塾」で、おいしく食べさせていたいただきました。

三宅町 池田年夫



統一と団結

週末、「TPP参加」の見出しが、新聞のヘッドラインを飾りました。国論を大きく分けているだけあって、自民党の中にも、関税の完全撤廃を免れると言う保障が無い以上、交渉参加に踏み切るべきで無いとする議論が暑く存在していますし、農協を始め各業界団体もこの点を厳しく指摘し、参加反対を表明してはいますが、安部首相はその保障が何処にも無いのに、心配(全ての品目の関税撤廃が前提で無い事等)が無い事が確認出来たと

しましたが、肝心の阻止勢力が、劣勢に回っている事を心配してはりました。確かにそうでした、農協なんかも、TPP参加阻止に向けては非常に強い意思表示をします。が、総選挙では、自民党を応援してはりましたし、あの沖縄でも、普天基地移転断固反対、米軍基地撤去で県民世論は一本化しています。が、選挙では、日米同盟の強化を進め、普天基地の辺野古移転を進める自民党の圧勝に終わっていますもんね。

ここら辺の、世論と行動とが一致せん事には、願っても叶いませんわな。

川西町議会議員 芝 和也



「子供が兵士」を観て

二十三日の夜、読売テレビで「世界一受けたい授業」という番組がありました。

最後の方だけ観たので不明確で申し訳ないですが、余りにも強い衝撃をうけたので取り上げます。テレビ欄には「25万人の子供が兵士」とありました。観た方は大勢おられるでしょう。

南アフリカのコンゴ共和国(だつたかな?)幼児や少年を誘拐し、兵士に仕立てあげていくという事が実際に行われていくというのです。

子供の手の平を切り、麻薬などを塗り込ませ、幻覚をおこさせる、そして目隠しをして銃を持たせ、知らないままに友達

を殺させ、「殺人をしまつた」という事実をつくつてしまふ。人の心理を悪用したそのやり方は何という残酷さでしょう。出演者も泣いていました。私涙を止める事が出来ませんでした。

レア・メタルの奪い合いで起っている戦争らしいですが、人間ってなんて愚かな事をしてしまふのでしょうか。お金のために宝である子供まで巻き込んで、「戦争」つて本当に人間を人でなくしてしまふ恐ろしいものだと言つ事がよくわかりました。

改憲論者が増えている今、憲法九条はどうしても護りたいものです。

田原本町議会議員 森 良子

